

2018年度 第1回 順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療安全に関する外部監査 実施報告書

日 時：2018年5月28日（月）14：00～15：15
場 所：D棟7階 会議室
外部監査委員：東京都医師会会長：尾崎 治夫 様
公益社団法人日本精神科病院協会指定弁護士：浅田 眞弓 様
早稲田大学 客員教授：村山 徹 様
対 応 者：院長：天野 篤
医療安全管理責任者：金子 和夫
医療安全推進部部長：小林 弘幸
事務部部長：米澤 和彦
医薬品安全管理責任者：佐藤 邦義
臨床工学技士長：中村 昭也
医療安全管理室：医師：室長：川崎 志保理、副室長 山本 宗孝、鈴木 麻衣
看護師：櫻井 順子（医療安全管理者）、養田 絢子
薬剤師：松本 雅弘、事務員：金子 真弘、唐澤 沙織

タイムスケジュール

1. 概要説明と出席者紹介	14：00-14：05
2. 業務状況報告	
1) 前回監査指摘事項に関する報告	14：05-14：10
2) 医療安全管理室業務状況報告（2017年10月～2018年3月）	14：10-14：20
3) 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）	14：25-14：30
4) 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）	14：30-14：35
5) 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）	14：35-14：40
3. 監査委員からの質疑、講評	14：40-15：15

監査結果

（前回指摘事項に対する改善状況について）

- ・医療安全研修の全職員受講、所属長への指導
→臨床系教授が出席する診療委員会で受講状況を毎月報告し、100%の受講率となった。
また、診療委員会で医療安全管理室長より医療安全ワンポイントレクチャーを行うことが決定されていた。
- ・ボトムアップできる組織体制（事故防止の観点から現場の意見を組み上げることも重要）
→より現場の意見が抽出できるよう、医療安全管理者等による医療安全ラウンドの内容の改善を計画していた。
- ・シミュレーション教育の推進
→早期警戒スコア（患者急変を予知できるツール）の自動計算システムを電子カルテ上に

反映する予定であり、完成後シミュレーションセンターと協同のうえ教育体制を整備していくとのことであった。

- ・後継者育成のためのサクセッションプラン（後継者育成計画）の導入
→サクセッションプランを導入し、2018年1月より医療安全管理室兼任医師が5名増員配置された。薬剤師は2018年3月、看護師および事務員は2018年4月にそれぞれ1名専任として配置され、職種を問わず育成が行われていた。

(評価項目について)

- ・2017年度に指摘した提言事項が確実に遂行されており、実行力が高い。

(提言項目について)

A. 医療事故の減少に向けた取り組みの実践

- ① 職員一人ひとりが「おかしい」と気付く感性を磨くこと
- ② 他職種間での情報共有の強化、風通しのよい環境（上司が下司の意見に対し聞く耳を持つ等）の整備
⇒①、②は院内全部署へ配布する Risk Management News Letter No. 30-3、30-4 で注意喚起を行った。
- ③ 「おかしい」の具体例を記録し、職員に教示すること
⇒データ収集と職員間共有の研修(セーフティレクチャーの活用)

B. シミュレーション教育の導入

⇒意欲的看護の提供と実践、シミュレーションセンターとの協同

C. 医療安全における効率化の推進

⇒インシデントレポートシステム「セーフマスター」での自動分類システムの導入を推進

以上